



# 故郷を世界に 「地球の歩き方in松前」

～好きも嫌いも・得意も苦手も関係ない！  
地域密着型授業の実践について～

北海道松前高等学校  
教諭 輿水飛鳥

# ☆ 北海道松前高校について①



- ・全校生徒164名
- ・海外派遣事業を実施  
行先はフランス
- ・生徒は純朴で素直
- ・学力のばらつきは大きい



## ☆ 北海道松前高校について②



- 進路は多様。  
国公立大学や医療系の学校を志望する生徒  
→ 課外講習を課し、実力を養成する
  
- 総合選択制カリキュラム  
→ 多様な進路希望の実現を図る



# ☆ 松前高校教諭陣紹介①



平均年齢33歳の若手集団  
経験不足を団結力でカバー！！  
3人寄れば文殊の知恵??チームワーク命！

英語科 : 中濱功太教諭  
応用英語で「松前の方言」を英語で紹介  
生徒が熱中するアクティビティーの考案・実践



4コマ漫画の作成→

←ALTの積極的な活用



## ☆ 松前高校教諭陣紹介②

社会科 : 梅原涉教諭・長谷川貴英教諭  
松前学Ⅰ・松前学Ⅱを担当。  
遺跡の発掘や史跡での授業などユニークな実践  
松前町内より外部講師を積極的に活用



←郷土料理「くじら汁」を調理中

遺跡の発掘調査の実習中 →



## ☆ About me



- ・ 北海道小樽市出身

### <教員歴>

- ・ 北海道恵庭南高等学校(4年) → 北海道松前高等学校(5年目)

1年前に卒業生を出し、現在は3学年の副担任・進路指導部。

部活動 : 吹奏楽局・ソフトボール部

座右の銘 : 「笑う角には福来る」  
「Tomorrow is another day.」

好きな物 : 音楽全般、温泉、豆しば

## ☆ 学力等実態調査における松高生の英語力と課題

- ・ほとんどの項目で全道平均を下回る
- ・特に英作文が壊滅的で、ほとんどが空欄
- ・英語Ⅱの授業では書く時間が圧倒的に不足
- ・他の3技能も伸ばせて、かつ「書くこと」を重点的に行える教材は？
- ・生徒曰く、英語なんて読む&話すだけで精いっぱい！やる気をUPさせるにはどうするか？



# ☆ 解決策



- ・「書こう」という意欲を持たせることが先決
  - 身近な話題を身近な外国人 (ALTや来校する留学生など) に伝えさせたい
  - 故郷松前の魅力を英語でPRしてみよう
  - 自分の作ったものが、人の目に触れるいい加減なものを作れない・・・
  - 英語は苦手だが、作品を作った達成感は味わえる！





ガイドブックを  
作ろう!!



**「地球の歩き方in松前」の制作開始!**

# 高等学校学習指導要領(抜粋)

## 外国語

### 第4款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

1(4)教材については～中略～各科目の目標に応じ、**実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮したものを取り上げるものとする**こと。～中略～**日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から、生徒の発達段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化を持たせて取り上げるものとし、次の観点に留意すること。**

イ 外国や**我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに**、言語や文化に対する関心を高め、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。

エ 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。

# ☆ ガイトブック「松前の歩き方」について

## 目的

- ・松前高校の学校設定科目「松前学」の授業と連携する
- ・故郷松前を学びながら、外国の人に松前町の良さを知ってもらう
- ・09年度版は町役場や金融機関、観光協会に展示  
地元の温泉旅館のHPに掲載



2009年度版の「松前の歩き方」です。  
 主に松前の観光地や地理的な特徴についてガイドをしています。



【松前】松前高の3年生14人が、町内の観光や文化などを英語で紹介するガイドブック「松前の歩き方」を作成した。17日には石塚耕一校長と女子生徒ら4人が役場を訪れ、町に寄贈した。

昨年10月から約3カ月間、選択科目の「生活英語」の授業で取り組んだことを冊子にした。生徒がテーマを決めて見聞き2分を担当し、松前藩屋敷や金子鷗亭などを調べた。インターネットでは松前観光協会などの写真を使い、レイアウトにも取り組んだ。英語訳は、米国出身の外

■ 地元高校生がガイドブック



英語で松前のガイドブックを作った松前高生と前田町長

国語指導助手（ALT）ウエスレイ・コリンズさんが添削に協力した。

17日は生徒を代表して吉田桃子さんが「松前観光の役に立てば」とガイドブックを前田一男町長に手渡した。前田町長は「道の駅などに置き、松前を訪れる外国人に配ってもいい」と話した。

新年度からも指導を担当する興水飛鳥教諭は「まだまだ文法的な誤りもあり、英語の学習を強化し、完成度をあげたい」と話している。

（大高由裕）

2009年2月14日に  
前松前町長を表敬  
訪問。  
直接「松前の歩き  
方」を手渡しました。





# 英語で観光ガイドブック

## 松前高3年生14人作製

【松前】松前高校（石塚耕一校長、生徒1777人）の選択科目「生活英語」を愛講している3年生14人が英語で「観光ガイドブック」を作製した。松前町の観光スポットや自然、歴史、文化、地理を詳しく調べ、英語に訳した。今のところ観光スポットなどに置く予定はないが、17日には生徒が前田一男町長を訪ね、冊子をプレゼントする。指導した興水飛鳥教諭は「生徒たちは授業を通して町の魅力を再確認することができた。英語力アップにもつながった」と完成を喜んでいる。（松宮一郎）

同校は「国際教育」、郷土の歴史や文化を学ぶ「松前学」を教育の柱と位置づけており、英語の観光ガイドブック作りもその一環として行われた。

ガイドブックはA4判で30ページ、20部作製した。生徒1人が見聞き2ページを担当。写真やイラストをふんだんに使い町の魅力を紹介している。「生活英語」を選択した3年生14人が昨年10月から11月にかけて取り組み、レイアウトなども生徒自身が行った。今年に入ってから製本をするなどして、冊子を完成させた。

興水教諭の指導の下、生徒が調べたいテーマを選び、ネットを使うなどして資料を集め、日本語で紹介文を書いた。英語訳は、興水教諭と町のALT（外国語指導助手）のウェスレイ・コリンズさんが表現をチェックし添削していった。町内にある竹林「孟宗竹林」をテーマに選んだ戸田隆君は「昔から知ってはいたが、詳しく調べることで、新たな発見があった」と語る。

書家の金子龍平を調べた平沼翔太君は「授業では互いにアドバイスするなどして協力して取り組んだ。一人では完成させることはできなかったと振り返る。熊谷慧太君も「観光スポットを詳しく調べると時間がかった。大変だったが

### 「町の魅力を再発見」

楽しかった」と感想を語った。興水教諭は「当初、製本までは考えていなかったが、出来が良かったので、しっかりと形にまこめることにした」とし、「新年度以降も『生活英語』を選択する生徒は『英語ガイドブック』作りに挑戦する予定。実際に観光スポットに置いてもらえるようなものを目指していきたい」と話している。



作製した冊子を手にする生徒たち

同年1月に函館新聞に「英語で観光ガイドブック／町の魅力を再発見」という記事が掲載されました。



# ☆ 「松前の歩き方」の問題点

- ・扱っている場所が有名どころの観光地 & 名産品ばかり  
→ 松前を知る生徒ならではの情報が無い
- ・情報源の大部分がインターネット  
→ 調べ学習としてはお粗末  
情報に間違いがあり、町役場から訂正依頼もきた
- ・ガイドブックを作った段階で授業は別の課題へ  
→ ガイドブックを活用しコミュニケーション活動へと繋がられなかった
- ・ALTの添削頼みとなった



# ☆ 12年度に全面改定

## 改訂のポイント

- ① 有名な観光地ばかりを扱うのではなく、生徒目線で「伝えたいもの」を選ぶ
- ② ネット集めはインターネットの情報にだけに頼らない
  - 図書館や資料館の利用・地域の人との講話
  - 「松前学Ⅱ」で作成した資料の活用
  - 他教科の教員のアドバイス



**「地球の歩き方in松前」制作**



# ☆ ガイドブックのプレゼンテーション

- ・プレゼンテーション力の育成
- ・英文への関わりを深める
- ・作品づくりに緊張感を与える
- ・英語の表現力の育成



# ☆ 松前学との連携



・2・3学年の選択教科である、松前学の授業とのコラボレーション

→クラスメートが作った資料をもとに更に調べ学習をすすめる。

\* 松前学から借りたもの・・・

松前の食に関する壁新聞記事  
松前の歴史についてのまとめ  
松前の桜についての考察  
松前の動植物についての記事



など



## ☆ 社会科との連携や資料作成について

- ・テーマの選別や調べ学習の方法についてのアドバイス
- ・インターネットのみに頼らない情報収集を習慣化
  - 本や資料集で調べることが苦手な生徒が多い。
  - 自分のテーマに沿った部分だけでも読み取らせる。



# ☆ 「地球の歩き方in松前」の取り組み

・学校設定科目「実用英語」で実施

→ 3学年選択教科2単位 選択生徒数:14名

・実用英語到達目標

① 日常生活に加え、幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、**情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を**更に伸ばす。

② 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を更に身につける。

・年間指導計画における位置づけ

10月～12月で実施

前期: 会話重視・英検取得重視

後期: 英作文・英語圏の文化の学習重視

# ☆ 「地球の歩き方in松前」の授業計画

- ・ テーマ決定 & 資料調べ・・・3時間
- ・ 日本語の原稿作成・・・2時間
- ・ 原稿の英語訳 & 修正・・・10時間
- ・ プレゼンテーションの準備・・・2時間
- ・ プレゼンテーション・・・1時間



# ☆ 日本語原稿の作成①- 1



## 全体に意識させたこと

### ・一文を短く

→ 作業をさせる前に例を挙げ、説明した上で行わせた。

例) 2012年7月12日に松前高校で行われた松高祭では、多くの来校者があり、特にみこし行列では保護者が給水に協力してくれた。 ↓

*2012年7月12日に松前高校では松高祭があった。*

*多くの来校者があった。*

*特にみこし行列では、保護者の方の給水に協力してくれた。*

## ☆ 日本語原稿の作成①-2

- **平易な日本語に書き換えさせる**
- 和英辞典を使ってもうまく調べられないようなもの  
→ 適宜教員のアドバイス
- 歴史的建造物や人物について  
→ ALTと相談し、適切な英訳文を考えた





# ☆ 日本語原稿の作成②

## 生徒の英語力別



### <国公立大学希望者> 集団の1割弱

- ・完成した日本語の原稿を授業者が確認  
難解な表現がないかどうかを点検  
ヒントはなし
- ・可能な限り辞書は使わせない  
→英作文は英借文！
- ・大きな問題はなく英訳できた

基礎がある程度出来ているので「歴史」という難しいジャンルに挑戦しました。↓

Matsumae's ancestor ~~is~~ who had ruled ~~the~~ Matsumae was Mr. Kakizaki.

Mr. Nobuhiro Takeda ~~is~~ <sup>WAS THE</sup> a founder of Matsumae. He went to Ezo chased by Mr. Nanbu of Oshu. In 1457 <sup>During THE</sup> mid-term of the Muromachi period the ~~pacified~~ Battle of Kosyamain ~~is~~ <sup>WAS</sup> the Ainu's first large scale uprising ~~pacified~~. ~~THEY WERE PACIFIED~~.

After Toyotomi Hideyoshi <sup>JAPAN ??</sup> ~~unified~~ world unified, Kakizaki Takanhiro of the fifth generation was observed <sup>as</sup> the ruler of Ezo.

After the death of Hideyoshi, Takanhiro ~~has~~ vowed to become a vassal of the Tokugawa Ieyasu at Osaka Castle in 1599.

# ☆ 日本語原稿の作成③



＜4年生大学希望者・英語の講習受講者＞集団の3割弱

- ・主語、動詞、目的語、補語の判断をさせる
  - 主語に○、動詞に△、目的語・補語に□をつけさせる
  - 例を示し、その通りにさせる
  
- ・SVOCを自分で判断し、英作文に活用できるかがカギ
  - 作った英文が文型に当てはまっているか確認
  - 修飾語を文の要素と区別できるよう適宜アドバイス

主語を○、動詞を△、目的語・補語を□で囲い、日本語を整理しています。ALTに3度添削を依頼し、英文をより忠実に日本語に近づけます。

- ①松前町は漁業が盛んです。海に面しているため。  
 ②特にマグロやアワビが有名です。  
 ③松前町の食をいくつか紹介します。

- ④まず有名なのは松前漬です。  
 ⑤基本的に昆布、すもめが使われます。  
 ⑥数の子が入っているものもあります。  
 ⑦松前町にはたくさんの種類の松前漬が売っています。

家庭料理

くじら汁

- ①松前では大みそかなどに食べます。  
 ②脂身の塩くじらと、豆腐、こんにゃく、大根などの野菜や山菜を  
 ぶんだんに入れ、昆布を醤油で煮込みます。

三平汁

- ①松前の新鮮な海の幸と大根、にんじん、じゃがいもを入れた  
 ものです。  
 ②松前では最もポピュラーな汁物です。  
 ③旬は季節によって、ほっけ、たら、さけなどを入れます。  
 ④これは私も好きです。

- ①Matsumae town has a fishery that is thriving.  
 ②Matsumae town is facing the sea.  
 ③Especially, tuna and abalone is famous.  
 ④I will introduce some Matsumae town's food.  
 ⑤Matsumae dake are famous.  
 ⑥Basically dried squid and kelp are used.  
 ⑦There is also Kazunoko. This is fish eggs.  
 ⑧Matsumae town sells many kinds of Matsumae dake.

Home cooking:

Whale soup:

- ①I eat, such as New zeals eye in vegetables such as  
 ②Add salt, whale, tofu, konnyaku, radish such as  
 vegetables, mountain herbs, cooked them in soy sauce

Sunpei soup:

- ①Sunpei soup is what put radish and fresh seafood  
 of Matsumae, carrots, and potatoes.  
 ②The most famous soup in Matsumae.  
 ③Depending on the season, put in cod and salmon  
 ④I like it.

## ☆ 日本語原稿の作成④



＜英語が不得手orモチベーション低めの生徒＞集団の6割

- ・主語、動詞、目的語、補語の概念があいまい。  
→ SVOCなんて言われるとやる気がなくなる・・・。

そこで・・・

**名詞を○で囲み、動詞を△で囲み、区別**をさせた。

## ☆ 日本語原稿の作成④-2

＜英語が不得手orモチベーション低めの生徒＞集団の6割

- **主部と修飾部の区別**をさせる
  - しかない部分 → **修飾部**
  - と△がある部分 → **主部**

これらの作業は彼らにはかなり厳しいので例を示しながら個別指導をする  
ここが**非常に苦勞した部分**



# ☆ 日本語原稿の作成④-3



＜英語が不得手orモチベーション低めの生徒＞集団の6割

- ① ○の名詞と△の動詞を**授業者で番号付け**する。
- ② 番号順に英単語を並べる。
- ③ 英語にできない単語を辞書で調べる。
- ④ 平易な文は**生徒自身で考えさせる**。

日本庭園

① 日本庭園は平成10年に作られ、特定地区公園の1つです。

② 作るのに3年かかり、費用は3億6千万かかりました。

③ 池には金魚があり、庭園の周りには花木・草花が生えています。

光善寺

1 one of ~

① a Japanese garden was made Heisei 10 year Ago in one of specific area park.

② It took 3 years to make it, it cost 3 hundred and six million YEN.

③ gold fish are surrounding a garden, there are flowering trees and shrubs. ~~it has grown.~~

↑英訳する順をメモした原稿を参考に、和英辞典と格闘します。

調べた単語は単語シートに書きだし繰り返し活用します。

→

学ぶ ⇒ learn

1994年 ⇒ 1994. 松前 ⇒ matsushima

銅像 ⇒ bronze statue. 建立 ⇒ build.

死去 ⇒ dead. 記念 ⇒ commemoration

中心となり ⇒ take a leading part

石碑 ⇒ a stone monument 観光 ⇒ outel

作品 ⇒ a work 13点 ⇒ 13 points

門人 ⇒ a pupil 著名人 ⇒ public figure

71点 ⇒ 71 point 合計 ⇒ in all

84点 ⇒ 84 point けれど But, there is it

国内最大級 ⇒ it is largest domestically

とらえ ⇒ becomes

< ガイドの原稿 >

< 金子隆幸 >

北海道松前郡生まれの書家。  
1906年、松前町に生まれる。  
15歳で札幌鉄道教習所に入学。  
大塚龍洞、川合向亭などから書道を学んだ。  
1944年には松前町の知照寺跡に銅像が  
建立された。2001年11月に95歳で没した。  
2008年10月に「書道100年を記念して創玄書道会が  
札幌市に「松前町の書道」を設立した。  
「北の書道展」を主催し、碑林には「隆幸の書道」  
の碑が建てられ、9人46北海道の著名人の作品が  
716点の書道と4作品の「おひ国内最大級の碑林と  
なっている。」

パソコンの入力が苦手な生徒は手書きで原稿を仕上げました。



## ☆ 日本語の原稿作成④-4

この集団には、英語嫌いや勉強嫌いが多く含まれています。  
日本人なのに英語なんて～～～という生徒たちに必要なのは・・・。

# 達成感！！

自分で調べて自分でできた！ことを増やしたい。  
不完全でも自分の力で英語を書く体験を積ませたい。

とにかく**誉める！**



## ＜特別支援対象生徒＞集団の1割未満

- ・自分が必要な資料を探すことがなかなかできない  
→ 教員側で候補を用意し選ばせる
- ・資料は他の生徒の2/3程度の分量  
→ 生徒が書き写した資料を、**授業者が平易な日本語に直す**
- ・主語や動詞の観点がない  
→ 作業は**名詞のみに○**  
**「物や人の名前に○をする」**ことを指示した。
- ・△(動詞)は教員と一緒につける。  
数が少ないので机間支援で対応できる





# ＜特別支援対象生徒への約束事＞

- ・遅くても丁寧に作業する
- ・他の生徒と同じように作業が進められるよう、手だてを講じる
- ・質問をする際は、順番を待つことを徹底させる
- ・1文ずつ達成度を確認する  
出来ていない場合は一緒に考え正解に導く  
→ 安心感を持たせることが必要





## ☆ 英訳段階の注意事項



- ・インターネットの翻訳サイトは一切使用禁止！！
- ・インターネットの辞書サイトの使用は可
- ・先につけた○△(□)の順番で文を大まかに作る。  
冠詞や前置詞などは分からなければ深く考えない！！
- ・行き詰ればhelp call
- ・日程が合えばALTが直接生徒に英作文指導をする。

## ☆ 問題点

- ・インターネットの辞典はサイトによって例文やヒットする語数が少ない

- ・不適切な英訳が見られた

例 : ~家の五男            → House Itsuo ??  
      家老                    → old house ??

- ・ALTとコミュニケーションがとれず、指導が進まないことがあった



# ☆ スライドの作成

## 注意点

- ・プレゼンテーションに使用すること
- ・原稿がそのままガイドブックになること
- ・写真や絵、字体なども工夫し、見栄えをよくすること



## ~The MATSUMAE & AINU~

In 1475, *Shingen Takeda* suppressed the revolt of *Koshamain*.

In 1597, *Hideyoshi Toyotomi* granted dominion over Ezo to *Lord Kakizaki*.

They changed their name to *Matsumae* and created the *Matsumae* Clan.





# International education



**Matsumae high school promotes international exchange with France. Students are sent to visit Louis Pasteur high school on exchange every year.**

# ☆ 「地球の歩き方in松前」の評価について

## 評価の観点

- ① 資料調べに意欲的に取り組んだか(関心・意欲・態度)
- ② 毎時に課されている英作文の課題をクリアしているか(知識・理解・関心・意欲・態度)
- ③ 文法的に適切な英語表現ができたか(表現)
- ④ ALTと自分のテーマについてコミュニケーションをとれたか(理解・表現)
- ⑤ 日本(松前)の文化・特徴を外国人に分かりやすく表現したか(知識・理解・表現)





## ☆ プレゼンテーションについて

- ・完成したスライドを使い、ガイドをする場所についてPRする
- ・評価はJETとALTが共同で行う
- ・当日参加できないALTは撮影したビデオを見て評価してもらう
- ・生徒の発表をお互いに評価し合う



# ☆ プレゼンテーションの評価について

- パワーポイントの操作と原稿発表の内容が合っているか  
(理解)
- 大きな声で発表し、他の生徒たちに聞こえているか  
(表現・関心・意欲・態度)
- 発音の間違いやイントネーションにおかしなところがないか  
(理解)
- すらすらと原稿を読めているか(表現)





## ☆ 反省と成果①

- ・英作文指導は思ったよりも時間がかかった
- ・プレゼンテーションの練習期間を十分に確保できず成果が上げられなかった
- ・ALTの来校日数が少なく効果的な指導が継続できなかった
- ・授業者と生徒の対話が日本語になりがちだった

## ☆ 反省と成果②

- ・インターネットに頼らない資料作りができた
- ・松前学の授業と連携した授業づくりができた
- ・教員間の連携だけではなく、生徒同士が情報を共有できた
- ・生徒に「英語を書こう」というモチベーションが生まれた

## ☆ 生徒の感想①

- ・今回ガイドブックを作って、松前にもこんな人たちがいたんだなあと感じた。
- ・日本語を英語に直すのがとても難しかった。でも楽しかった。
- ・日本語を英語にするのが難しかった。実用英語の時間が来なければいいなと一時は思ったけど、完成した時の達成感はハンパない。
- ・英文に直していくのがとても大変で、パソコンに打ち込むのも一苦労だった。
- ・いつも行っているお店を改めて良く知ることができました。英語で松前のお店の良さをちゃんと伝えられたか不安です。翻訳する作業が面白かったです。
- ・松前の祭りはたくさん知っているけど英語にしてみたら、こんな表現をするのかと楽しかったです。
- ・1度は目にしたもので知らないことが多かったから知れて良かった。

## ☆ 生徒の感想②

- ・松前の歴史を調べてみると、今まで知らなかったことがたくさんあり、歴史が深い町なんだと思いとても勉強になった。
- ・松前のホットスポットを自分なりに考えたけれど、あまり出てこなかったのが残念でした。けれども松前はいいところがたくさんあるということが改めてわかりました。外国の人にも魅力が伝わればいいなあ。
- ・松前のことについて良く知れるいい機会だったし、作ったものを外国人に見てもらいたい。
- ・自分の知っている料理ばかりだったが松前でしか食べられない事を知り、改めて地元の恵まれた環境にありがたいと思った。
- ・知らなかった松前の伝統を知ることができて良かった。



## ☆ 生徒の感想③

- ・英語に訳する作業がとても大変だったが、パワーポイントを作ったり、デザインしていくのは楽しかったです。こうゆう授業をもっとやって！
- ・英語にするのがとても難しくて手間取ったし、パワーポイントもなかなかできなくて泣きたいくらい大変だった。
- ・調べるのも文章にするのも楽しかったです。パワーポイントの文章を英語で入力するのは大変だった。
- ・単語を1つの文にするのは難しいと思った。でもいい勉強になった。楽しかった。
- ・調べる時はすらすらと進みましたが、それを英語に変えていく作業が思ったよりも難しかったです。英語と日本語では言葉の順序が違うんだなあと思った。

## ☆ 今後について

- ・町内にPRし、観光地などに置いてもらうよう交渉中
- ・英作文指導は課題が残った
- ・教科横断型の授業の継続実施
- ・英語での観光ガイドに挑戦したい
- ・プレゼンテーションの改善





*Thank you for listening!*